

一毛町

Ikke-machi



教徳寺とお虎の供養塔



おじいちゃん：今日は一毛町に行ってみよう。

ボ **ク**：なんて読むの？

おじいちゃん：「いつけまち」と呼ぶんだよ。

ボ **ク**：いつからそういう町名になったの？

おじいちゃん：江戸期から明治22年は一毛村、明治22年から一毛という前橋町の大字名、明治25年から前橋市の大字名、そして明治43年から昭和40年は一毛町と言っていたよ。

ボ **ク**：どうしてそういう町名になったの？

おじいちゃん：一説にはこの辺りは一毛作地帯だったから、そう呼ばれたとあるよ。また、この地は利根川の河床で流れの変化によって中洲ができ、牧草が繁茂し牧畜が盛んに行われたことで、牛馬等の毛からそう呼ばれたとあるよ。

ボ **ク**：このまちはどこになるのかなあ。

おじいちゃん：上毛電鉄中央前橋駅の東側一帯、城東町三丁目、四丁目界隈だね。

ボ **ク**：当時の一毛町の様子を見てみたいよ。

おじいちゃん：大正時代に前橋北部耕地整理事業によって大きく変わったけれど、戦前は迷路のまちと呼ばれ、しばしば方向を間違える人がいたそうだよ。また、上毛電鉄中央前橋駅の北側、広瀬川沿いにたくさん一杯呑屋さんが出ていて、上電横丁の名で多くの人々に親しまれていたんだけど、今はその姿もなくなり一変してしまったね。

ボ **ク**：神社仏閣は何かあるの？

おじいちゃん：教徳寺というお寺があるよ。昔の人たち

は僧念房と言っていて、立川町にある大蓮寺の隠居寺で、前橋城にまつわる話の中「お虎」の供養塔があるよ。そして、

戦後昭和26年8月5日、戦災7周年を期し、一毛町、諏訪町、隣接するまちの人々の浄財によって石像の親子地蔵が建てられ、現在も祀られているよ。

ボ **ク**：このまちに有名な人はいるの？

おじいちゃん：このまちで忘れてはならない彫刻家の細谷而楽(三郎)という人がいたよ。東大寺、唐招提寺、興福寺、新薬師寺などの仏像や彫刻を修理復元をした人なんだよ。特に新薬師寺の十二神将の一つ波夷羅大将を復元し、今日国の重要文化財に指定されている。そして現在、県道前橋赤城線沿いに生家跡の碑が建てられているね。

ボ **ク**：偉大なる人としてまちの人だけでなく、前橋市民としても誇りだね。ところで町名に因んだ施設はあるの？

おじいちゃん：上毛電鉄中央前橋駅の次の駅に一毛町駅という駅名があったけど、今は城東駅になってしまったね。他にももう町名の名残はないね。

ボ **ク**：残念だね。せめて駅名は残しておきたかったなあ。でもお寺は残っているし、偉大な人の碑はあるので、大切にしていきたいね。

おじいちゃん：そうだね。では、今回は栄町に行ってみよう。

ボ **ク**：そうだね。では、今回は栄町に行ってみよう。

おじいちゃん：そうだね。では、今回は栄町に行ってみよう。

ボ **ク**：そうだね。では、今回は栄町に行ってみよう。

おじいちゃん：そうだね。では、今回は栄町に行ってみよう。

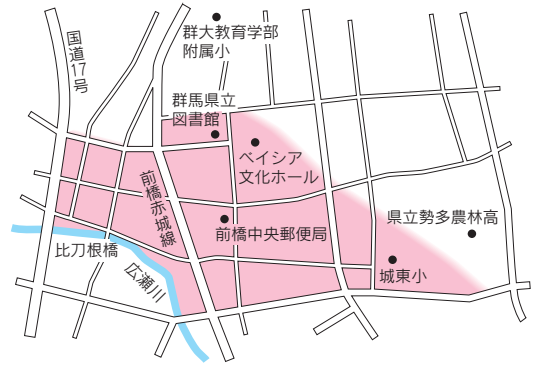
ボ **ク**：そうだね。では、今回は栄町に行ってみよう。

おじいちゃん：そうだね。では、今回は栄町に行ってみよう。



栄町

Sakae-cho



交水社（出典：国書刊行会「ふるさとの想い出 写真集 前橋」より）

おじいちゃん：今日は栄町に行ってみよう。

ボ **ク**：なんて読むの？

おじいちゃん：「さかえちよう」と呼ぶんだよ。

ボ **ク**：いつからそういう町名になったの？

おじいちゃん：先日訪ねた一毛町の一部を独立して、昭和3年7月に栄町が誕生したんだよ。

ボ **ク**：どうしてそういう町名になったの？

おじいちゃん：一毛町から独立してまちが発展し、栄えるように命名されたのかな。前橋の他に高崎、伊勢崎、桐生、館林にも栄町があるね。

ボ **ク**：このまちはどこになるのかなあ。

おじいちゃん：広瀬川に架かる比刀根橋南側から東へ、県道前橋赤城線を通り過ぎ、先日訪ねた諏訪町の北側界隈までだね。

ボ **ク**：当時の栄町の様子を見てみたいよ。

おじいちゃん：比刀根橋付近に、かつて勢多会館のあったところが栄町1番地で、ここを起点として町内の地番が付けられたんだよ。この勢多会館は昭和9年12月に落成、ここには勢多地方事務所があったんだけど、その後消えて駐車場となり、今はマンションが建っている。昔のまちの様子は数えるほどしか人家は少なく、多くは一面の水田と桑畑であったというよ。また、広瀬川には河岸があつて舟運があつたんだ。旭館というところの裏通りに舟着場があつたようで、この旭館は舟宿であつたようだ。さらに、このまちにあつた大製糸工場である交水社は、糸のまちまえばしの象徴だった。明治10年営業所を創設したのが始まりで、市内の産線糸を集め広瀬川の水路を利用して水車を回して繰糸を行い、出来た荷は舟に積んで出し

たというよ。

ボ **ク**：色々な事で広瀬川は役立っていたんだね。勢多会館付近の広瀬川に橋が架かっているよ。

おじいちゃん：栄町と隣接するまちを結ぶ比刀根橋だね。昭和8年6月に出来たんだよ。今の利根川の流れに対し、元の流れ、すなわち今の広瀬川を「比刀祢川」と呼んでいたんだ。こんなところから、ここに架けられた橋という事で橋の名になったんだよ。改装される前までは、戦時中の焼夷弾や爆弾の破片の傷跡が生々しく、刻まれてあつたそうだよ。

ボ **ク**：何か施設はあるの？

おじいちゃん：城東小学校があるね。開校したのは昭和2年4月1日で、戦前の昭和17年にはプールもできたんだよ。また、小学校付近にゴロゴロ山があつたそうで、古い人たちは思い出の場所であつたというよ。また、前橋郵便局があつたり、近くには県立図書館や県民会館があつたりして、町名のとおり、ますます栄えたまちといえるかもね。

ボ **ク**：町名に因んだ施設はあるの？

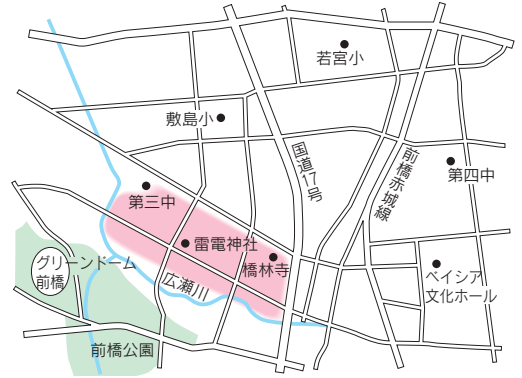
おじいちゃん：施設はないけれど、まちの中に栄通りがあつて、今もまちの人たちはそう呼んでいるよ。

ボ **ク**：町名の名残はほとんどないけれど、栄通りの名が残っているからうれしいね。そして、町名のとおり栄えたまちになったんだね。

おじいちゃん：そうだね。では、次回は向町に行ってみよう。

向町

Mukai-cho



雷電神社の脇にひっそりと佇む「鈴木藤次郎工場跡」の碑

おじいちゃん…今日は向町に行ってみよう。

ボ ク…なんて読むの？

おじいちゃん…「むかいちょう」と呼ぶんだよ。

ボ ク…いつからそういう町名になったの？

おじいちゃん…江戸期当初は岩神村であって、そのうち向町になり、昭和40年までそう呼ばれたよ。

ボ ク…どうしてそういう町名になったの？

おじいちゃん…江戸期の頃、お城の近くの人たち、特に広瀬川以南の人たちが、広瀬川の川向こうにあるまちと言っていたところからそう呼ばれ、前橋城下町人町の1町だったんだよ。

ボ ク…このまちはどこになるのかなあ。

おじいちゃん…先日訪れた神明町北側で広瀬川左岸を東西に延びる界限だね。

ボ ク…当時の向町の様子を見てみたいよ。

おじいちゃん…一本道路に沿って延びたまちで、今もこの道路は名残としてあるね。この細長い町並みを称して「長町八丁」とか「八町長町向町」などと言っていたそうだよ。

この道はかつての沼田街道で、広瀬川に架かる厩橋を渡り、先日訪れた豎町から立川町や本町へ抜ける唯一の道だったんだ。道の真中には小川が流れ、他所から城下町に入る旅人は、この川で手足を洗い身支度を整えたというよ。1761年に19歳にして江戸に出た塩原太助も、この道を通ったかもしれない。それにしても、当時の家並と賑わいを除けば狐や狸の棲むところで、田畑や藪の多いところだったようだね。

ボ ク…前橋城下に入るための大切な場所だったんだね。その後はどうなったの？

おじいちゃん…明治22年8月、渋川に通じる現在の国道17号線が出来て、このまちも変わり、以前ほどの賑わいはなくなったようだ。でも明治40年頃には、広瀬川の流れを活用した1丈(約3m)もの水車7ヶ所もあり、製糸が盛んになったんだ。

ボ ク…神社仏閣はあるの？

おじいちゃん…通り沿いに雷電神社があるよ。落雷が多いために祀ったんだよ。昔は向町へ行けば雷が落ちないと信じていた子供たちの姿があったというよ。その東には橋林寺があるよ。この寺には、多くの宝物があったんだけど、火災によって焼失してしまっただよ。でも青銅製直径12・7cmの鰐口があり、貴重なものが残っているようだよ。また、明治6年に県下4番目の小学校ということで第4小学校として、敷島小学校がこの橋林寺に開校したんだよ。

ボ ク…このまちに有名な人はいるの？

おじいちゃん…このまちで忘れてはならない鋳物師の鈴木藤次郎という人がいたよ。雷電神社入り口の隣は旧家と工場があったようで、ここに工場跡の碑が建てられているね。

ボ ク…町名の名残はないけれど、名残のある道があったり、ひっそりとただずむ神社仏閣、有名な人の碑があったりしているからうれしいね。

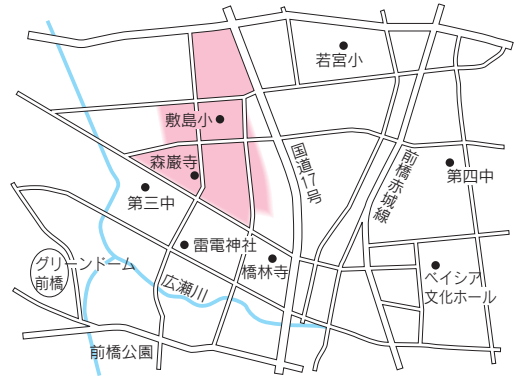
おじいちゃん…そうだね。では、次回は萩町に行ってみよう。



現在は住宅街となった萩町に佇む森厳寺

萩町

Hagi-machi



おじいちゃん：今日は萩町に行ってみよう。

ボク：なんて読むの？

おじいちゃん：「はぎまち」と呼ぶんだよ。

ボク：いつからそういう町名になったの？

おじいちゃん：江戸期から明治22年まで萩村と呼ばれたよ。そして明治11年南勢多郡に所属し、明治22年から43年まで萩という大字名だったんだけど、特に明治22年に前橋町の大字名、明治25年に前橋市の大字名だったんだ。続いて明治43年から大正13年には萩小路という前橋市の大字名となり、大正13年から昭和40年まで前橋市の町名として萩町となったんだよ。

ボク：どうしてそういう町名になったの？

おじいちゃん：由来は不明だけど、植物名として吾妻町萩生と同じく萩の生じるところの意によるものかな。

ボク：このまちはどこになるのかなあ。

おじいちゃん：先日訪れた向町北側、前橋第三中学校通り北側一帯界限だね。

ボク：当時の萩町の様子を見てみたいよ。

おじいちゃん：萩小路には100〜200石取りの土族屋敷が40軒ほどあったというよ。明治の初め頃までは、これらのほか土着の農家が4、5軒あるのみという寂しさだったんだよ。現在は完全に住宅街となっているね。

ボク：神社仏閣はあるの？

おじいちゃん：住宅地の一角に森厳寺（しんがんじ）があるよ。この寺には、かつて香葉観音（こうようかんのん）があつて安産に効くといわれ崇敬されていたけど、戦災で惜しくも失ってしまったんだ。この観音様に関係して萩の城がこの付近にあつたんだよ。「上毛国風土記」に「萩の城、城

主不明、観音寺と呼ぶ所である」と記されているようで、もしかしたら観音寺の跡に森厳寺（しんがんじ）が建てられたかもしれない。

ボク：その他になにかあるの？

おじいちゃん：「前橋新風土記」に元和山という石山があり、昔は利根川の河床だったので、田畑をつくるため石を積み上げた山だったといい、子供たちのよき遊び場であったそうぞ森厳寺（しんがんじ）あたりにあつたようだよ。また、狐が出没したそうだよ。それから先日訪れた向町の橋林寺（きょうりんじ）に創設した敷島小学校は大正9年現在地に新築移転し、昭和4年火災により全焼したけど、昭和48年めでたく開校100周年を迎え、現在も住宅地の中にあるね。他に旧町名にちなんで公開緑地の萩公園や銭湯の萩の湯があるよ。

ボク：このまちに有名な人はいるの？

おじいちゃん：このまちで忘れてはならないのは堀康雄という人で、昭和7年から17年までの10年間助役を勤め、引続いて昭和21年までの4年8ヶ月、第11代目の市長を勤められ、戦前から戦中、そして戦後という前橋にとって未曾有の時代に市長として大変苦労され、今日の前橋へと引継いだ人なんだよ。

ボク：町名の名残はほとんどないけれど、昔の町名を使った銭湯や住宅街にたたずむお寺、歴史のある小学校があるし、大変苦労された市長を輩出したまちとして、誇りに思っていていきたいね。

おじいちゃん：そうだね。では、次回は若神町に行ってみよう。